Creative Enzymes®

ネイティブアラキス・ヒポガエア（ピーナッツ）ホスホリパーゼD

Cat. No. NATE-0594

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホリパーゼDは、ホスホリピッド加水分解酵素であり、受容体媒介のシグナル伝達□答および調節分泌の重要な成分です。ホスホリピッドおよびスフィンゴミエリンのリン酸結合を加水分解し、□□するホスファチジン酸を生成します。ホスホリパーゼDは、ピーナッツにおける干ばつ感受性の付与に関与しており、アフラトキシン汚染のリスクを高めます。
用途	研究により、ADP-リボシル化因子によるホスホリパーゼDの調節が、トランスゴルジネットワークからの新生分泌小胞の放出に重要であることが示されています。また、犬の心筋サルコレマ小胞におけるNa+-Ca2+交換活性の刺激を調□する研究にも使用されました。
別名	ホスホリパーゼD; EC 3.1.4.4; リポホスホジエステラーゼII; レシチナーゼD; コリンホスファターゼ; PLD; 9001-87-0

製品情報

由来	アラキス・ヒポガエア（ピーナッツ）
形態	部分的に精製された、バッファー塩を含む凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.1.4.4
CAS登□番号	9001-87-0
活性	> 60 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 5.6、30°CでL-α-ホスファチジルコリン（卵黄）から1時間あたり1.0 μmolのコリンを放出します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C